

農村環境対策による学校教育と連携した農業体験学習

平成25年度は、農地・水環境保全活動の事業の一環として学校教育と連携した活動が実施されました。

5月24日の田植え作業には、にかほ市立金浦小学校5年生と地区活動組織会員で、伝統的田植え作業と農業水利の概要を学び、最後に体験感想を述べてもらい生育状況を調査しながら、秋の収穫を期待して終了しました。

今年は、長雨等で生育も心配されましたが、作柄は平年並みで9月25日には、稲刈り作業が実施され刈り取り作業が初めての生徒がほとんどでしたが、刈り取り後に稲の杭掛け作業も体験して終了した。最後に全員で記念写真を撮影しました。

その後、収穫した米を利用した昼食会も兼ねた「農業体験学習交流会」が2月27日に小学校で開催され、活動組織会員からも10名参加して共に学習を行いました。

交流の中で、将来農業に従事したい希望の生徒はいませんでしたが、今後農業体験で汗を流し一生懸命作業したことを忘れないでいただければ有り難いと思っています。

最後に当組織も高齢化してきておりますが、当環境保全活動事業が続づく限り継続していきたいです。



活動体制	
実施主体	飛地区環境保全活動組織 代表 佐藤 正春
後援・連携	水土里ネットにかほ（にかほ市土地改良区）にかほ市立金浦小学校 にかほ市農林水産課
実施期間	5月25日～2月27日
参加者	田植え作業50名・稲刈り作業57名・農業体験学習42名
報道関連	にかほ市企画広報班
活動実施年数	11年目（平成15年）
連絡先	〒018-0311 にかほ市金浦字花潟93-1 にかほ市土地改良区 TEL. 0184-74-5496
その他	県奨励賞（H19）、県知事賞（H23）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネットにかほ（佐藤 正春）

○活動の目標及び達成率	目 標 農業体験学習を通じて学校教育と連携を図る				
	達成率 80%				
○活動に対する評価	・11年目になり充実してきている				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	C	取り組みの継続はしているが他団体連携はない
①役職員・組合員の参加	A	組織体制は充実してきている	③運動の計画性	B	概ね理解されている計画になっている
②後継者育成の工夫	C	地域の高齢化により難しい状況である	4. 運動の成果		
2. 活動の意味性について			a. 組織活性化	B	概ね組織の活性化になっている
①基本理念の設定	A	目標を立てて取り組んでいる	b. 地域農業	C	至っていない
②地域の歴史等の伝承	A	水土里ネットの特徴を生かした活動になっている	c. 地域コミュニティー	A	概ねコミュニティーが図られている
③運動の先駆性	B	基本理念に基づいた運動になっている	d. 地域資源管理	C	多少強化につながっている
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	総合的に無理のない運動になっている	組織も高齢化しているが、できる限り支援していきたい		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他